

I. 公益財団法人仙台観光国際協会 令和4年度事業報告

令和4年度の事業については、候補 DMO（観光地域づくり候補法人）に申請し、令和5年3月31日に登録された他、新型コロナウイルス感染症にかかる様々な制限の緩和により、海外の旅行博や国内各地での出展等による観光客誘致に取り組んだ。また、各種助成事業により、仙台で開催される各種会議、観光事業者や地域の取り組み等を支援した。外国人住民に対しても、生活に関する情報を多言語で発信し、コロナ禍で生活困窮に陥るなど支援を必要とする人に対して相談対応や通訳支援を行った。

[公益目的事業]

1. 観光振興に関する事業

ワクチン接種等による新型コロナウイルスの感染状況の改善を見込み、国内外の観光客誘致や受入整備事業等を再開予定であったが、新型コロナウイルス感染症の第6～8波の影響により、一部事業については、当初計画していた事業の縮小や変更を余儀なくされた。令和4年10月より国内における水際対策が緩和され、海外個人旅行者（FIT）の受入が再開されたことを受けて、海外の旅行博への出展による宣伝活動や情報提供、国内での商談会での誘致活動やアフターコロナを見据えたプログラム創出事業を実施するとともに、国内に対しては感染状況に注意しながら各種の誘致事業や環境整備事業を実施した。

(1) 海外プロモーション事業

行政及び民間事業者等と連携し、アフターコロナを見据えた、アジア地域等からの訪日外国人観光客の誘致拡大を図った。

① 誘致事業

台湾やタイ等からの個人旅行やインセンティブツアー誘致拡大並びに観光目的地としての仙台の認知度向上及び仙台を訪問先とする旅行商品造成の促進を目的とし、相手国の旅行博への出展、旅行エージェントへのセールス、関係者の招請等誘致PR事業を実施した。

i. 台湾、タイにおける観光客誘致プロモーションの実施【重点】

ア 台湾、タイでの旅行博への出展

- ・台湾：大台南国際旅行博

開催日：令和4年11月18日（金）～21日（月）

- ・タイ：第28回タイ国際旅行博

開催日：令和5年2月16日（木）～19日（日）

イ タイから東北への定期便利用促進プロモーション

一般社団法人東北観光推進機構と連携し、旅行博への出展のほか、現地旅行会社の招請やオンラインメディアへの記事掲載等により情報発信を行った。

ii. タイインセンティブツアー関係者の招請

周辺エリアと連携してタイ旅行業協会（TTAA）の役員を招請し、仙台市及び近隣縣市町村の観光施設等の見学を実施した。また招請に合わせて、タイ・仙台観光セミナーを実施し、賛助会員等が自施設をPRする機会を設けた。

iii. タイ等における商談会への参加

アフターコロナの誘客を目的に、タイ・バンコク現地の旅行会社向け勉強会やセールス、タイ国

際旅行博の商談会に参加し、タイ現地の旅行会社に向けて仙台の観光PRを実施した。また、JNTOの主催する東南アジア市場に向けたオンライン商談会に参加し、現地エージェントに向けて仙台の魅力及びインセンティブツアーのPRを実施した。

- ・シンガポール（オンライン）

 - 開催日：令和4年6月29日（水）、7月5日（火）、7月21日（木）

 - 商談件数：4社

- ・タイ・バンコク

 - タイ・バンコク旅行会社向け勉強会

 - 開催日：令和4年10月27日（木）

 - 参加件数：15社

 - タイ・バンコク旅行会社セールス

 - 開催日：令和4年10月25日（火）、10月28日（金）

 - 商談件数：5社

 - タイ国際旅行博商談会「TITF Business Matching 2023」

 - 開催日：令和5年2月15日（水）

 - 商談件数：19社

iv. インセンティブツアーの支援

アジア等からインセンティブツアーを対象とする各種おもてなしメニューの支援については、海外渡航自粛措置等の影響により、支援申請はなかった。仙台の魅力とインセンティブツアーをPRするため、JNTOバンコク事務所のタイ旅行エージェント向け訪日情報プラットフォームに情報を掲載した。

v. 台南アウトバウンド強化事業

台湾・台南へのアウトバウンド促進及び相互送客を図るため、台南旅行商業同業公会と連携し、一般社団法人 日本旅行業協会（JATA）東北支部の会員に向けた台南の観光情報をPRするオンラインセミナーを開催した。

② 受入整備事業

新型コロナウイルス感染症の収束とインバウンド再開を見据え、仙台を訪れる外国人観光客等が仙台に滞在中快適に過ごせるよう、関係機関等と連携し受入環境整備を図った。

i. インバウンドセミナーの開催

仙台市内及びその周辺の観光関連事業者に対し、外国人観光客の受入環境整備を図るためのセミナーを開催した。インバウンド受け入れ再開に伴い、インバウンドの市場動向を含む情報提供、インバウンド観光に対する戦略や方向性、デジタルマーケティング、海外プロモーションをテーマとしたセミナーを会場開催で実施した。

ア 令和4年度外国人観光客対応力向上セミナー（第1回）

「アフターコロナのインバウンド需要を確実に取り込むために仙台市に必要なこと」

開催日：令和4年11月1日（火） 13：00～15：00

会場：TKPガーデンシティ仙台 ホール30A

参加者：44名

【第1部】仙台市の外国人観光客の受入れについて

【第2部】アフターコロナにおけるインバウンド市場動向について

イ 令和4年度外国人観光客対応力向上セミナー（第2回）

「仙台観光マーケティングセミナー」※セミナーの一部として第2部を実施

開催日：令和5年2月27日（月） 13：30～16：00

会場：ガーデンパレス仙台 2階鳳凰

参加者：56名

【第1部】観光都市としての「仙台」の現在地～リサーチ結果を踏まえて～

【第2部】インバウンド再開に向けた「統合的デジタルマーケティング」と情報発信の成功事例について

【第3部】2023年「G7仙台科学技術大臣会合」開催について

「未来の杜せんだい2023」開催について

（2）国内プロモーション事業

仙台を訪れる国内観光客の一層の拡大を図るため、関係各所と連携し、各種事業を実施した。

① 観光行事等開催支援事業

地域観光行事等に対し協賛負担金を拠出し、観光振興の促進を図った。

i. 祭り・イベント開催の支援

仙台・青葉まつり、仙台七夕まつり、定禅寺ストリートジャズフェスティバル、SENDAI 光のページェント等の実行委員会と連携し、協賛金の支払い等お祭り・イベントの開催支援を行った。

② 観光キャンペーン等推進事業

集客効果が高く、かつ仙台の認知度向上につながる観光関連企画や国内就航都市において誘致プロモーションを開催し、仙台の魅力づくりと誘客促進を図った。

i. 就航都市等における観光客誘致プロモーションの実施【重点】

観光客の誘客促進を図るため、仙台市と連携して国内就航都市である福岡、大阪で現地セールスの実施や観光物産展を開催し、仙台の観光プロモーション及び物産品の販売等を行った。

・伊達な仙台いいものフェア（福岡）

開催日：令和4年10月28日（金）～10月30日（日）

開催場所：ららぽーと福岡 1階 メディアパーク（福岡県福岡市）

・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（大阪）

開催日：令和5年3月14日（火）～3月16日（木）

開催場所：ディアモール大阪 円形広場横のイベントスペース（大阪府大阪市）

ii. 旅行商品の造成支援

旅行会社が造成する旅行商品が掲載されたパンフレットに対し、仙台の観光情報等の掲載を条件として、その作成費用の一部の助成を行った。（年2回）

交付件数	3件
金額	400,000円

iii. 東北等近県における観光客誘致プロモーション（マイクロツーリズム推進事業）の実施

東北等近県からの誘客促進を図るため、秋田市で開催された「東北絆まつり2022」に出展し、仙台の観光プロモーションを行った。また、仙台市及び仙台商工会議所が主催する仙台未来創造フォーラムに合わせ、開催された『伊達な仙台いいもの・いい旅フェア』に出展し、観光プロモーションを行った。

- ・東北絆まつり秋田

- 開催日：令和4年5月27日（金）～5月29日（日）

- 開催場所：秋田県秋田市八橋運動公園（秋田市八橋運動公園1-10）

- ・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（東京）

- 開催日：令和5年1月26日（木）～1月28日（土）

- 開催場所：KITTE 丸の内1Fアトリウム（東京都千代田区）

iv. 仙台七夕まつり等祭り・イベントへの参画

仙台市内で開催される「仙台七夕まつり」等の祭り・イベントを活用し、仙台の観光スポットや食、体験プログラム等、仙台の魅力のPRを行った。

v. プロスポーツを活用した誘客促進及び情報発信

在仙のプロスポーツチーム支援組織「仙台プロスポーツネット」と連携し、プロスポーツを活用した誘客促進を図った。

vi. 観光誘致セールスの実施

アフターコロナを見据え、首都圏旅行会社への誘致セールスを実施した他、現地プロモーションとして、なかの東北応援まつり2022、うへの桜フェスタ2023に出展し、観光プロモーションを実施した。

- ・2022なかの東北応援まつり

- 開催日：令和4年10月29日（土）～10月30日（日）

- 開催場所：中野駅北口バスロータリー横、中野区役所正面玄関広場（東京都中野区）

- ・うへの桜フェスタ2023

- 開催日：令和5年3月24日（金）～3月26日（日）

- 開催場所：上野恩賜公園 噴水前広場（東京都台東区）

③ 教育旅行受入促進事業

教育旅行に対応できる仙台市内の関連施設（宿泊施設、文化・観光施設、工場等）と連携し、本市への教育旅行に関する問合せや相談に関して、市内各施設の情報提供やコーディネートを行った。また、新型コロナウイルス感染症によって教育旅行先が変化している状況を踏まえ、他県の旅行会社や学校に対して、地方自治体や民間企業等と連携し、セールス活動や現地説明会等により、総合的な誘致活動を行った。

i. 修学旅行誘致キャンペーンの実施

ア 仙台市、宮城県、伊達な広域観光推進協議会等関係団体と連携して、北海道での現地プロモーションを実施し、中学校教育旅行の誘致を図った。

【セミナー、商談会】

日時：令和4年11月30日（水）13：30～16：30

会場：ホテルポールスター札幌

参加者：22団体29名（中学校12校12名，旅行会社8社11名）

【セールス】

実施日：令和4年11月29日（火）～12月2日（金）

セールス先：旅行会社7社，中学校など教育関係機関20か所（函館市，札幌市，小樽市，余市町，北広島市，石狩市，恵庭市，千歳市内）

イ 東北観光推進機構「教育旅行誘致部会」が実施する事業と連携して，情報発信を行った。

ウ 伊達な広域観光推進協議会と連携して，甲信越，北関東，中部，関西等からの教育旅行の誘致を図った。

【新潟・長野旅行代理店訪問】

実施日：令和4年6月15日（水）～16日（木）実施

【栃木・群馬・埼玉旅行代理店訪問】

実施日：令和4年7月12日（火）～13日（水）実施

【埼玉・茨城旅行代理店訪問】

実施日：令和4年8月30日（火）～31日（水）実施

【大阪・京都・愛知旅行代理店訪問】

実施日：令和4年10月25日（火）～27日（木）実施

④ 観光客受入整備事業

仙台市内の周遊を促すため，これまでに創出した体験プログラムの認知度向上・利用拡大に向けた取組みの強化及び青葉山エリアを活用したプログラムの創出などの観光コンテンツ開発をすすめた。また仙台の歴史や魅力を伝える「観光ボランティアガイド」を支援するなど観光客の受入体制の整備を進めた。さらに東北観光推進機構，仙台まるごとバス運営協議会等の組織と連携を図るとともに，交流人口の拡大に関する連携協定を締結した宿泊施設団体と宿泊客増大に向けて緊密に情報交換を行い，受入環境整備をすすめた。

i. 体験プログラムの推進【重点】

仙台市内の周遊を促すため，これまで創出した体験プログラムの認知度向上・利用拡大に向けた取組みの強化を図った。

またSNS等によるプログラムの情報発信，利用促進を目的にプログラム事業者対象の研修会を実施した。

ア 青葉山エリアの歴史体験・文化体験・自然体験プログラムの創出

青葉山エリアにおいて，伊達武将隊等と連携し，仙台城跡での謎解き体験やアクティビティ体験等を創出した他，その他エリアにおいて，令和4年度は187本のプログラムを創出した。

イ 宿泊に繋がるナイトタイムエコノミープログラムの創出

夜間早朝の熱気球体験など，宿泊に繋がるプログラムの創出を図るとともに，仙台市ナイトコンテンツ専用ウェブサイト「仙台夜時間」の開設にあたり，ナイトコンテンツの情報提供を行った。

ウ 教育旅行に対応する，キャリア教育プログラムや産業コンテンツの創出

御譜代町の一つであった荒町で体験できる仙台市内唯一の酒蔵の見学ツアーや，仙台七夕に因んだ七夕和紙を再利用した物作りのプログラム，プロの漫画家から教わる“作並の鎌倉山”

をモチーフにした「ゴリほっこり」の絵付け体験など、学習要素が高いプログラムの創出を行なった他、商店街において教育旅行生が自身の地元PRを行うための受入環境整備を行った。

エ プログラムの認知度向上・利用拡大に向けた「旅コレフェスティバル」の開催

【仙台旅先体験コレクションフェスティバル2022】

日時：令和4年6月25日（土）～8月28日（日）

内容：フェスティバルに向けた新たなプログラムの他、期間限定の特別価格や特典付きの「いまだけ体験」、地域ならではの「ここだけ体験」を事業者の地元で実施。

オープニングイベントとして、6月25日（土）～26日（日）にぶらんど～む一番町で体験イベントを実施した。

オープニングイベント体験・PRブース訪問者数：6月25日（土） 1,010名
6月26日（日） 964名

オ 研修会や交流会など、体験プログラム運営事業者への支援

事業者向けにInstagramを活用したプロモーション強化を目的とした研修会を実施した。

【Instagram研修&ワークショップ】

日時：令和5年2月16日（木）14:00～16:00

会場：仙台観光国際協会4階会議室

参加者：20名

【体験プログラムの創出支援】

仙台市内において実施する体験プログラムを新たに創出する事業者に対し、支援を行なった。
(1事業あたり10万円上限)

交付団体数	9事業者／12プログラム
金額	1,124,000円

ii. 多分野と連携したコンテンツの創出【重点】

ア 日本遺産「政宗が育んだ“伊達”な文化」の構成文化財を活用したコンテンツの開発
秋保田植え踊りなど文化財の下見や実施団体に対するヒアリング等調査を行った。

イ 劇都仙台の強みを生かした舞台芸術に着目したコンテンツの開発

せんだい演劇工房10-BOXなど舞台芸術関連施設に対するヒアリング等調査を行った。

ウ 産学官連携によるテーマ型着地ツアーや福祉に配慮したツアーの開発

宮城学院女子大学、(株)たびむすびと連携し、学生の目線による地域の魅力を活かした着地型ツアーを3本開発し、「仙台ふららん」で販売を行った。

- ・作並の名物キャラクター「ゴリほっこり」と行くほっこり恋旅
- ・女子力アップ!庭園美しい名刹・輪王寺で心も浄化する「寺ヨガ」
- ・心彩りアート旅 ～彫刻, 建物, ギャラリー, ショップ, まちの景観づくりまで～
仙台の美を知るまちあるき

エ 仙台ホテル総支配人協議会との協定に基づく連携事業

仙台市・仙台ホテル総支配人協議会・仙台観光国際協会による交流人口の拡大に関する連携協定に基づき、各種連携事業を行った。

- ・ワーキンググループ会議の開催

- ・星空鑑賞会の実施
- ・東部沿岸地域を巡るバスモニターツアーの実施

iii. 観光ボランティアガイド団体の活動支援

ア 仙台市内で活動している観光ボランティア団体が主催する事業等に対する助成を行った。

交付団体数（件数）	3団体（5件）
金額	183,000円

イ 観光ボランティアガイド団体と連携した市内各所の街歩き企画として、「伊達な名所巡り」を実施した。

日程：令和4年10月22日（土）～11月27日（日）の土日祝日※一部平日も実施

場所：瑞鳳殿／仙台城跡／陸奥国分寺薬師堂

総案内数：2,318名

ウ 観光ボランティアガイド団体の会員及び観光ボランティアガイドに興味のある一般の方を対象に、『観光・おもてなし研修会』を実施した。

日程：令和5年2月25日（土）13：30～16：00

会場：オンワード樫山仙台ビル 仙台市役所 10階ホール

プログラム：第1部 演題「『今』から始められるおもてなし術～仙台をもっと好きになる～」

講師：奥州・仙台おもてなし集団 伊達武将隊 支倉常長氏

第2部 観光ボランティアガイドネットワーク加盟団体活動紹介

研修会出席者数：合計89名（うち、ガイド団体所属者は42名）

エ 安全を考慮したガイド活動を支援するため、「伊達な名所巡り」協力団体に対して、感染症対策物品を貸与し観光客の受入環境を整備した。

iv. 街角案内所における情報発信

市内の商業店舗等と連携して設置している街角案内所17施設において、観光情報をはじめ定期的な情報発信とパンフレット類の提供を行った。

v. 他団体との連携による情報発信

宿泊施設・観光施設・交通事業者等と連携した誘客の促進を図るほか、「スポーツコミッションせんだい」との協働による観光情報の発信及び受入整備を行った。

vi. 仙台まるごとバス運営協議会等の事務局運営

仙台圏の二次交通商品である「仙台まるごとバス」と「るーぷる仙台」の宣伝・販売促進を目的に設立された「仙台まるごとバス運営協議会」及び「仙台市観光シティループバス運行協議会」事務局の運営を担った。

ア 仙台まるごとバス運営協議会事務局運営

- ・リーフレット，ポスター，特典ブック等の作成と活用
- ・バス販売促進策の推進と広報宣伝の実施
- ・販売実績

期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
枚数	8,122枚（前年度比107%）

イ 仙台市観光シティループバス運行協議会事務局運営

- ・リーフレット等の作成と活用
- ・乗車実績向上にむけた広報宣伝の実施

・るーぶる仙台利用実績

期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日
乗車人員	160,338名（前年度比119.0%）

（3）仙台西部地区観光振興事業

仙台の観光振興にとって重要な観光資源を有する仙台西部地区への観光客誘致拡大を図るため、各種事業を展開した。

【各地区共通】

i. 観光振興(地域活性化支援)事業の助成【重点】

仙台西部地域で活動する団体が、観光資源を活用した誘客促進や観光客の受入環境整備等の観光振興を目的として実施する事業に対して、経費の一部を助成した。

実施地区	件数	金額
秋保地区	8件	5,912,000円
作並・定義地区	※7件	4,653,000円
泉西部地区	1件	1,408,000円
合計	16件	11,973,000円

※新型コロナ感染拡大による中止1件を含む。

ii. 仙台西部観光振興推進協議会の運営

仙台西部地区の一体的な観光振興を図る上でのニーズ等を集約する観光事業者組織「仙台西部観光振興推進協議会」の事務局運営を担った。

ア 【第26回（令和4年度第1回）】

日時：令和4年7月4日（月）14時00分～15時30分

場所：仙台観光国際協会4階会議室

出席人数：12名（うち事務局4名）

主な会議内容：①委員構成の変更について

②令和4年度西部観光振興事業について（助成金交付事業）

③公益財団法人仙台観光国際協会「中期ビジョン」について

④その他

イ 【第27回（令和4年度第2回）】

日時：令和4年12月1日（木）14時05分～15時30分

場所：仙台観光国際協会4階会議室

出席人数：15名（うち事務局6名）

主な会議内容：①令和4年度助成金交付事業の執行状況について

②令和5年度助成金事業について

③令和5年度予算要求新規事業 仙台西部地区誘客支援事業（各温泉地から主要観光地と緑化フェア会場を巡る西部地区観光バス運行）について

④次回の協議会について

⑤その他

ウ 【第28回拡大会議（令和4年度第3回）】

日時：令和5年3月9日（木）14時00分～16時00分

場所：仙台観光国際協会4階会議室

出席人数：18名（うち事務局6名）

主な会議内容：①令和4年度助成金交付事業の報告について

②今後の西部観光振興事業について

③次回の協議会日程について

④その他

iii. 観光事業者等との連携による観光振興策の創出

仙台西部地区内の観光事業者等と積極的に情報交換を図り、観光振興策の創出等に繋げた。

職員参加状況（開催行事支援及び会議等）

（延べ人数）

時間帯	早朝	時間内	夜間	休日	計
職員数	0	145	2	44	191

iv. クーポン付マップのWEB情報の更新

仙台西部地区（秋保、作並・定義、泉西部）を網羅したクーポン付マップのWEB情報を更新し、観光客の増加を図った。

v. 仙台西部地区マルシェ開催告知支援（仙台西部地区への誘客）

仙台西部地区で個別に開催・告知されているマルシェを1つにまとめた案内チラシを作成し、市役所本庁、泉区役所、秋保総合支所、宮城総合支所、秋保・里センター、仙台市作並・定義地区観光案内所に配布し、集客の拡大と各マルシェの周遊を図った。

① 秋保地区の観光振興に関する事業

仙台市秋保地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、秋保地区の魅力向上に繋がる企画を実施した。また観光に関わる設備（街路灯・案内看板等）の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境を整備するとともに、これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行った。

i. 観光施設等の維持管理

秋保温泉の街路灯施設、案内誘導柱、案内看板、歓迎こけし塔等の維持管理等を行った。

ii. 秋保温泉郷旅あるきマップ等の作成

秋保温泉郷内を観光や飲食、ウォーキングやサイクリング等で楽しめる「秋保温泉郷旅あるきMAP」（6万部）を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

iii. 祭り・イベント等の開催支援

秋保温泉活性化事業、大東岳山開き、まつりだ秋保等への開催支援を行った。

ア 秋保温泉活性化事業

・花いっぱい運動

・街路灯七夕飾り付け 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

イ 大東岳山開き：令和4年5月29日（日） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止

ウ 第7回手ん店～あきうクラフトフェア～：令和4年9月10日（土）～11日（日）

エ まつりだ秋保：令和4年10月23日（日）

オ アキウルミナ2022：令和4年10月22日（土）～11月20日（日）

広報宣伝協力等

カ さかいの産直市：令和4年6月18日（土）～11月13日（日）の毎週土日

合計42回開催

(※8月13日(土)・14日(日)除く)

ウェブサイト情報の更新・イベント用チラシ制作等(印刷用データ作成)

キ 野尻交流カフェばんどころ：令和4年4月9日(土)～12月11日(日)の毎週土日営業
ウェブサイト情報の更新等

② 作並・定義地区の観光振興に関する事業

仙台市作並・定義地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、作並・定義地区の魅力向上に繋がる企画を実施した。また観光に関わる設備(街路灯・案内看板等)の管理を行い、観光客を適切に迎え入れる環境を整備するとともに、これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行った。

i. 観光施設等の維持管理

作並温泉の街路灯施設、歓迎こけし塔、案内看板や定義地区の街路灯施設、歓迎塔の維持管理を行ったほか、大倉ダム周辺の桜の天狗巣病対策として剪定を実施した。

ii. 作並温泉郷・定義旅あるきマップ等の作成

作並温泉郷及び定義地区をウォーキングやサイクリング等で楽しめる「作並温泉郷・定義旅あるきMAP(3.6万部)を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

iii. 祭り・イベント等の開催支援

作並駅感謝祭、定義如来夏祭り、定義軽トラ市、ほっこり作並雪まつりへの開催支援を行った。

ア 作並駅感謝祭：令和4年4月16日(土)、10月8日(土)～9日(日)

イ 定義如来夏祭り：令和4年7月2日(土)～10日(日) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、「平貞能公供養祭」に名称変更し、開催規模を縮小

ウ 定義歩行者天国：令和4年11月3日(木・祝)、11月5日(土)～6日(日)
(定義トラック市、貞能鍋無料試食会)

エ ほっこり作並雪まつり：令和5年1月28日(土)

③ 泉西部地区の観光振興に関する事業

仙台市泉西部地区の観光振興を目的に、地域で行われる事業の調整・PRを実施するとともに、当該の魅力向上に繋がる企画を実施した。これらの事業推進のため、地域と緊密な情報交換を行った。

i. 泉西部旅あるきマップ等の作成

泉西部地区をウォーキングやサイクリング等で楽しめる「泉西部旅あるきMAP(1.2万部)を作成・配布し、観光客に対し同地区の魅力情報を提供した。

ii. 祭り・イベント等の開催支援

ア 泉ヶ岳山開き：令和4年4月16日(土)開催支援を行った。

イ あったかいよねのしろいしMAP：根白石商店会で過去に作成したMAPの再生を図るため、MAPデータの作成を行い、地域活性化の支援を行った。

(4) せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

映像作品を通じた地域振興・観光振興を目的とし、映像製作者を対象に、ロケーション撮影に必要な支援の無償提供や、ロケ地に関する情報提供、撮影許可の簡便化、市民エキストラの手配等を行った

ほか、支援した映像作品が公開・放映される際の宣伝活動を実施した。

① せんだい・宮城フィルムコミッション運営事業

i. ロケーション撮影誘致と支援業務

国内の映像作品及び動画配信サービス作品を中心に関係各所と連携の上、対応を行った。

- ・岩井俊二監督新作映画
- ・藤井道人監督2024年全世界配信映画 等

ii. 地元ロケ作品の積極的なPR活動の展開

年度内に作品3作品が全国公開され、関係各所と連携したプロモーション活動を実施した。

- ・映画「天間荘の三姉妹」及び「レジエント&バタフライ」を活用したプロモーションの実施
- ・アニメ「映画バクテン!!」を活用した舞台地自治体と連携したプロモーションの実施

iii. 地域啓発事業

- ・地元メディア及び紙面媒体等を通じたフィルムコミッション活動の告知
- ・仙台短編映画祭2022への参画
- ・設立20周年記念誌の作成等

iv. 支援実績

- ・映画、TV番組、CM、書籍等 支援件数189件（うち撮影実績31件）

v. 経済効果

当事業の実施による宮城県全体に対する経済効果は下記のとおり。

- ・令和4年度直接経済効果： 約 77,603,000円
- ・産業連関表に基づく二次波及効果：約129,000,000円

(5) 仙台・青葉まつり支援事業

大規模な祭りの魅力を活かした観光客誘客拡大を目的に、仙台を代表する祭りの一つである仙台・青葉まつり協賛会事務局に関する業務のほか、伊達政宗公山鉾に関わる業務を行った。青葉まつり当日の山鉾巡行は政宗公山鉾1基のみの実施となったが、来場者は宵まつりで21万6千人、本まつりには21万7千人、計43万3千人となり、にぎわいを見せた。また、青葉まつり開催に合わせて、伊達政宗公の霊廟「瑞鳳殿」において、仙台の銘品・工芸品を奉納し、一定期間「瑞鳳殿資料館」において展示を行った。

2. 物産振興に関する事業

仙台地域の伝統・文化の継承と発展に寄与することを目的に、仙台の物産品・名産品等のPR及び仙台の伝統工芸の後継者育成をはじめ、物産品・名産品等の販路拡大のための支援を行った。

(1) 物産振興に関する事業

① 物産振興に関する事業

i. 仙台市工芸展の開催

仙台の工芸品の展示・販売会を開催した。

2023仙台市工芸展

開催日：令和5年2月17日（金）～2月26日（日）

開催場所：エスパル仙台本館

ii. 物産品等による観光客誘致プロモーションの実施

ア 姉妹都市・就航都市等への物産品PR

プロモーション実施を予定していた白老町の「白老牛肉まつり」は新型コロナウイルス感染症の影響により中止となった。

・伊達な仙台いいものフェア（福岡）【再掲】

開催日：令和4年10月28日（金）～10月30日（日）

開催場所：ららぽーと福岡 1階 メディアパーク（福岡県福岡市）

・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（東京）【再掲】

開催日：令和5年1月26日（木）～1月28日（土）

開催場所：KITTE 丸の内1Fアトリウム（東京都千代田区）

・伊達な仙台いいもの・いい旅フェア（大阪）【再掲】

開催日：令和5年3月14日（火）～3月16日（木）

開催場所：ディアモール大阪 円形広場横のイベントスペース（大阪府大阪市）

イ 展示会・物産展等出展

・仙台・宮城“いいもの再発見”フェア

開催日：令和4年10月15日（土）～10月16日（日）

開催場所：三井アウトレットパーク仙台港 センタープラザ・イベントステージ

・「夏の仙台いいものフェア」

開催日：①WEB 販売：令和4年7月22日（金）～8月 8日（月）

②現地販売：令和4年8月 5日（金）～8月 8日（月）

開催場所：①仙台観光国際協会オンラインショップ「伊達な銘品横丁」

②JR仙台駅2F東西自由通路「杜の陽だまりギャラリー」

・「冬の仙台いいものフェア」

開催日：①WEB 販売：令和4年12月9日（金）～令和5年1月15日（日）

②現地販売：令和4年12月14日（水）～12月18日（日）

開催場所：①仙台観光国際協会オンラインショップ「伊達な銘品横丁」

②JR仙台駅2F東西自由通路「杜の陽だまりギャラリー」

・仙台・青葉まつりと連携した仙台駅銘品・工芸品フェアの開催

「2022仙台・宮城の味と技フェア」

開催日：令和4年5月9日（月）～5月15日（日）

開催場所：JR仙台駅2F ステンドグラス前

iii. 伝統的工芸品製造者等の後継者人材育成

伝統工芸品製造事業者等の後継者育成の支援を目的に、若手後継者の会の事業に助成を行った。

iv. 東北等近県における観光客誘致プロモーションの実施【重点】（再掲）

v. 地元銘品・銘菓や伝統工芸品等の奉納と展示（奉納の会）

瑞鳳殿において地元銘品等を伊達政宗公に奉納するとともに、奉納品を「瑞鳳殿資料館」に展示した。

vi. 物産関係団体との連携による情報発信

- ア (公社)宮城県物産振興協会・観光土産品公正取引協議会との連携
 - イ 仙台箆笥協働組合との連携
 - ウ 仙台商工会議所との連携
 - エ (公財)仙台市産業振興事業団との連携
 - オ 仙台・福島・山形三市観光・物産広域連携推進協議会との連携
- 情報発信：4件

vii. 震災復興支援物産展の開催・協力

東日本大震災以降、復興支援をいただいている全国の自治体や関係団体からの物産展への出展依頼に関し、賛助会員に周知並びに出展調整を行った。

- ア 東北絆まつり2022秋田
食品販売ブースの出店調整および現地での観光PR等を実施した。
- イ 震災復興支援に係る物産展開催要請に対する対応
対応件数 1件(広島市立広島商業高等学校：12月)

viii. 仙台銘品ガイドの作成

市内の物産パンフレット(商品名、メーカー、問合せ先等掲載)である仙台銘品ガイドを物産品のPRに活用した。

物産パンフレット「仙台の銘品ガイド」のデータ修正(ウェブサイトで公開)

3. コンベンション推進に関する事業

仙台市及びその周辺地域の発展と活性化を図ることを目的に、コンベンションの情報収集・誘致・支援といった一連の事業を実施した。年度後半には、オンラインやハイブリッド形式とともに、参集型でのコンベンションも開催されるようになった。それに伴い、コンベンション助成事業への申請も大きく増加した。

(1) コンベンション誘致・支援事業

① コンベンション助成事業

国際・国内会議の開催を仙台市に誘致するとともに、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与することを目的に、コンベンション主催者に対し、開催助成や開催準備資金貸付を行った。新型コロナウイルス対策としてハイブリッド形式コンベンション開催助成も引き続き行った。

項目	件数	金額
コンベンション開催助成(国際会議, 国内会議)	23件	31,500,000円
ハイブリッド形式コンベンション開催助成	13件	6,500,000円
市民公開講座開催助成	0件	0円
シャトルバス運行助成	0件	0円
開催準備資金貸付	2件	4,000,000円

② コンベンション誘致事業

学会や大会の事務局やキーパーソンなどに対して仙台でのコンベンション開催のセールス活動

及び招請活動を行うとともに、IME（国際 MICE エキスポ）に出展し、商談及び仙台の魅力を PR し、アフターコロナを見据えた会議誘致を図った。

i. 首都圏等における誘致セールス

首都圏や東北大学を中心とした地元の会議キーパーソンへの誘致活動を訪問やオンラインで実施した。

首都圏	6回	17件
首都圏キャラバン		15件
東北大学	7回	21件

また、東北大学関係者の方を対象に、「コンベンション開催支援セミナー」をオンラインで開催し協会の支援事業の説明を行った。

開催日：令和4年11月18日（金） 計3回開催 参加者数 16名

ii. M（ミーティング）I（インセンティブ）誘致セールス 【重点】

- ・企業が実施する M, I に関する誘致セールスは、東北・関東各都県の旅行業協会等への訪問セールスを中心に、仙台市内の旅行代理店や宿泊施設等を含め 41ヶ所へセールスを実施した。

宿泊施設：6施設 MICE 施設：3施設 旅行代理店：19社 旅行業協会：13支部

- ・全国旅行業協会東京都支部が主催する賀詞交歓会においてブース出展し助成事業の促進と仙台市への誘客 PR を実施した。

実施期間：令和5年1月24日（火）

会場：浅草ビューホテル

参加者数：全体約170名（うち、旅行会社130社 150名）

- ・会議等の開催の促進ならびに宿泊および MICE 施設の利用促進を図るために、会議等の開催経費を一部助成する「仙台市企業内会議・研修会助成制度」を実施した。

実施期間：令和4年4月15日（金）～令和5年2月28日（火）

助成申請件数：44件

助成実績件数：41件 人数：1,273人 助成額：6,365,000円

iii. 国際 MICE エキスポ（IME）への出展

国内外の MICE 主催者を対象に商談を行う「IME2023」に出展し、会議主催者等と商談を実施した。

開催日：令和5年2月16日（木）

主催：JNTO（日本政府観光局）、JCCB（日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー）

商談件数：18件

iv. コンベンション主催者の招請

JNTO が海外の国際会議のキーパーソンを日本へ招請している事業をオンラインで実施した「オンライン Meet Japan」は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となった。代替として、国際会議オンライン商談会（シンガポール、インド）に参加した。

開催日：令和4年11月15日（火）～11月16日（水）

商談件数：シンガポール6件、インド4件

仙台を開催候補都市のひとつとして検討している国際会議や全国会議の主催者を招請し、視察対応を行った。

v. 国際会議協会（ICCA）データの活用および情報収集

ICCA のデータベースを利用した有力な国際会議の情報収集を実施した。

vi. 東北地区コンベンション合同誘致商談会への参加

東北地区コンベンション推進協議会主催において合同誘致商談会を実施した。

開催日：令和4年12月14日（水）

開催場所：都市センターホテル 出展団体数：15団体

来場者数：30団体 31名（うち仙台ブースにて商談件数：15団体 15名）

vii. コンベンション誘致資料の翻訳

JNTO を通して海外への情報発信を行うとともに、コンベンション誘致関係の翻訳を行った。

③ コンベンション支援事業

仙台で開催されるコンベンションに対し、その開催に必要な助言・サポート及び仙台紹介のためのツールの提供など、事前準備段階から開催まで様々な支援・サービスを実施し、コンベンションの円滑な運営と成功に寄与した。また、国際会議ボランティアの育成・派遣によるおもてなしの向上を図った。

i. MICEサポートセンターの設置・運営

コンベンション等 MICE 受入を目的とした各種情報の収集、セミナー等の開催を行った。

ア 「国際観光コンベンションフォーラム2023 in 仙台」の開催

例年開催している「MICE レベルアップセミナー」の代替え事業として「日本コンベンション研究会」との共催で開催した。

開催日：令和5年2月7日（火）～8日（水）

場所：仙台国際センター

参加者数：130名

イ 「仙台コミュニケーションフェア in 仙台国際センター」の開催

仙台国際センター、仙台市と共催で開催し、会議関係者に対し当協会の支援内容の情報提供説明を行った。

ウ WEBによる仙台の魅力の発信

企業内会議・研修会・報奨旅行向けのサイトをリニューアルし、ユニークメニューや研修・体験メニューなどの情報提供を行った。

エ その他支援

- ・観光などパンフレットの提供
- ・コンベンションバッグの提供（有料）

ii. コンベンション誘致・支援キットの作成

コンベンション誘致・支援のツールを作成した。

- ・仙台コンベンション施設ガイド
- ・文化観光施設割引券
- ・各種支援案内チラシ
- ・大会・会議かんたんマニュアル

iii. 開催会議への支援メニューの提供

国際会議及び全国規模の国内会議において、アトラクション、エクスカージョン、体験プラン、

感染防止対策等，おもてなしメニューの提供を行った。

- ・提供件数 国際会議：2件
国内会議：5件

iv. 国際会議ボランティアの育成・派遣

- ア 「仙台コンベンション学生サポーター説明会」の開催
内容：新たに加入した学生サポーターに対し，当協会の事業内容や国際会議の概要，学生サポーターの役割などについて説明会を行った。
開催日：令和4年7月16日（土）
参加者数：27名
- イ 「仙台コンベンション学生サポーター研修会」の開催
内容：令和4年度に新規登録した仙台コンベンション学生サポーターに対し，仙台の観光地を案内するための基本知識を身につけてもらうため，「るーぷる仙台」に実際に乗って利用方法を理解するとともに，仙台藩祖・伊達政宗公に関する人気観光スポットを訪問し，英語で説明するための研修を行った。
開催日：【第1回】令和4年9月22日（木）
【第2回】令和4年9月27日（火）
参加者数：10名（【第1回】8名，【第2回】2名）
- ウ 「令和4年度国際会議ボランティアシンポジウム」の開催
内容：国際会議語学ボランティア登録者を対象に，「2023 G7仙台科学技術大臣会合」の開催概要を説明したほか，仙台や東北の魅力を世界に発信している外国人をパネリストにお呼びし，日本と外国の“おもてなし”の違いなどについてお話しいただいた。
開催日：令和4年11月5日（土）
参加者数：23名
- エ ボランティア派遣
国際会議のホスピタリティデスクや案内対応として，国際会議ボランティアを会場に派遣した。
・派遣件数 4件 うちホスピタリティデスク設置 3件

v. コンベンション開催時の歓迎表示

- 全国会議を対象にJR仙台駅2階のウェルカムボード等へ歓迎表示を実施した。
掲出件数：国内会議65件

4. 多文化共生・国際交流に関する事業

言葉や習慣などの異なる外国人住民が，自らの個性を活かしながら，地域の一員として活躍できる多文化共生社会の形成を目的として，国際交流や国際理解などに関する各種事業を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から，感染対策を徹底した事業運営とともにオンライン等も積極的に活用した。また，ウクライナからの避難民に対して，仙台市と連携して相談対応や通訳などの支援を行った。

(1) 外国人市民支援

① 日本語学習支援事業

生活に必要な日本語の習得を目的として、市民団体や関係機関との協働により、外国人住民のための日本語講座等を開催した。また、マンツーマンで日本語学習を支援する日本語ボランティアの研修及び活動支援を行った。

i. 日本語講座の開催

市民センターや市民団体との協働により、市内6か所に日本語学習支援の場をつくり、外国人住民が生活に必要な日本語の習得を支援した。

ア せんだい日本語講座

期間：(前期) 5月～10月 (後期) 11月～3月

受講者：(前期) 120名 (後期) 158名

イ 日本語ティールーム(託児付き)

期間：5月～3月開講

受講者：58名

ウ さっと日本語クラブ(小中学生対象)

期間：5月～2月

受講者：26名

エ その他の日本語学習支援団体に対する広報及び活動費の支援

- ・外国人の子ども・サポートの会
- ・泉日本語サロン
- ・RAN日本語教室

ii. 日本語ボランティアの活動支援

日本語学習の希望者に、学習支援のために日本語ボランティアを紹介するとともに、登録ボランティア向けの研修会を開催した。

ア 日本語ボランティア研修会の実施

(「地域日本語教育の体制整備」事業のガイダンスと兼ねて開催)

開催日：令和5年2月26日(日)

場所：オンライン(Zoom使用)

テーマ：「外国につながる子どもの学習支援ー日本語初期指導の時期に大切なことー」

講師：田所希衣子氏

参加者：53名

イ 日本語ボランティアの登録と学習者への紹介

- ・登録者ボランティア数 97名
- ・学習者希望申し込み者数 18名
- ・学習を開始した学習者数 14名

(新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点からオンラインでの学習希望者のみ受付)

ウ 市民団体が行う研修会への協力

iii. 地域日本語教育の体制整備

外国人住民の新たな学習ニーズに応える地域日本語教育の体制づくりのため、コーディネーターを配置し、下記のとおり実施した。

ア 総合調整会議の開催

大学、市民団体、外国人コミュニティ、日本語学校等の関係者を招集し、市内の日本語教育

の現状と今後の方向性、関係機関の取り組みの共有と連携の検討などを議論した。

第1回総合調整会議：令和4年6月30日（木）

第2回総合調整会議：令和4年11月11日（金）

イ 地域日本語学習支援検討会の開催

地域日本語教室等関係者を対象とし、コロナ禍における外国人住民や市内各教室の状況を共有するとともに、地域日本語教育の体制整備事業について取組み状況や方向性を説明した。

開催日：令和4年9月26日（月）

出席者：市内17教室関係者 22名

ウ オンライン教室の実施

外国人住民の学習ニーズに対応するため、関係機関等と共催、協力するなどし、新たな学習機会を創出した。

子ども対象オンライン教室：全28回、受講者数52名

（「v.外国につながる子どもの支援」に詳細を掲載）

成人対象オンライン教室：全20回、受講者数34名

オ ポータルサイト開設

地域日本語教育について市民と効果的・効率的に情報共有を図るため、ウェブサイトを制作した。

② 生活支援事業

外国人住民が、交通安全や防災、文化・習慣など日本での生活に必要なことについて学び、地域で安心・安全に暮らすためのオリエンテーション等や生活に必要な情報の翻訳と広報を実施した。言語や習慣等の違いから学校生活や進学に困難を抱える外国につながる子どもとその家族を支援するため、ガイダンスや学習教室の開催、情報提供等を、感染症対策やオンラインを活用するなどして実施した。またコロナ禍で困窮する外国人住民向けの情報発信、支援も行った。

i. コミュニティ通訳の育成・派遣

行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをする「コミュニティ通訳サポーター」の登録、派遣を行い、サポーター向けのオンラインミーティングを開催した。（「仙台多文化共生センターの運営」を参照）

ii. 生活オリエンテーションの開催

外国人住民が安心・安全に暮らすため、日本語講座、日本語学校、専門学校、大学等に出向いて生活オリエンテーションを行うとともに、生活マナーに関する動画を作成した。

ア せんだい日本語講座「にほんごカフェ」

時期：4月～1月（全4回）

参加者：延べ59名

テーマ：仙台観光国際協会の紹介、災害・防災、健康管理、各種通知（国民健康保険、不在連絡票等）、ごみの捨て方

イ 出前講座

開催数：通年9回

参加者：延べ481名

ウ 生活マナーに関する動画作成（一般財団法人自治体国際化協会の助成事業）

名称：「新生活を始めるみなさんへ～外国人住民のための暮らしのガイド～」(13分)

内容：騒音，防犯，ごみの出し方，交通ルール，防災，税金等

言語：やさしい日本語，英語，中国語，ベトナム語，ネパール語

iii. 生活情報の多言語化

健康，子育て，防災など外国人住民の生活に必要な情報を，行政機関や市民団体と連携して多言語に翻訳・提供した。また，仙台市と協力して，新型コロナウイルス感染症に関する情報を発信した。(全41件，主にベトナム語，ネパール語への翻訳)

内訳：新型コロナウイルス感染症情報19件，その他，生活，健康・子育て，税金年金，ごみ等

iv. FMラジオ多言語放送による情報発信

FMラジオ4局の協力を得て多言語による情報発信を行った。平常時は季節の話題や生活情報を提供し，災害発生時には支援情報を提供するツールとして活用した。

放送日：言語ごと月1回14分間放送

内容：生活情報，イベント情報等

言語：英語，中国語，韓国語，やさしい日本語

協力：エフエムたいはく，f mいずみ，ラジオ3，エフエムなとり

v. 外国につながる子どもの支援

外国人児童生徒をはじめとする外国につながる子どもを支援するため，通訳や情報提供，学習支援のできるコーディネーターを学校等に派遣した。

ア 「外国につながる子どもサポートせんだい相談デスク」

相談事案数：65件

(保育園2件，小学校44件，中学校9件，その他10件)

コーディネーター・職員派遣数：41件

(保育園2件，小学校34件，中学校3件，その他2件)

公開研修会(対面及びオンライン開催)

日時：令和4年8月9日(火)

参加者：会場参加8名，オンライン参加42名

コーディネーターミーティング(オンライン開催)

日時：令和5年3月2日(木)

参加者：6名

教材・参考資料の整備と貸出

学校現場等で有効な日本語学習の教材を整備し，貸出を行った。

新規貸出：5校(14教材)

継続貸出：9校(62教材)

イ 日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス宮城

・「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイダンス宮城2022」の開催

開催日：令和4年7月30日(土)

場所：仙台多文化共生センター，オンライン(Zoom)

内容：会場とオンライン両方で高校進学に関する情報提供，質疑応答を行った。

参加者：18名(子ども，保護者・付添いを含む)

・進路ガイダンス実行委員会HPへの進路情報・動画の掲載

- ・中学校の先生から外国につながる子ども・親へのメッセージ動画の作成
 - ・「日本語を母語としない子どもと親のための進路ガイドブック」(ネパール語)の翻訳
- ウ 日本語を母語としない小中学生のためのオンライン教室
- 内容：オンライン (Zoom) を使用した教科学習及び日本語学習支援
- 共催：宮城教育大学，協力：(公財) 宮城県国際化協会
- 第1回：令和4年6月1日(水)～7月1日(金) 毎週水・金曜 (全10回)
- 参加者23名，支援協力者25名
- 第2回：令和4年11月9日(水)～12月14日(水) 毎週水・金曜 (全10回)
- 参加者24名，支援協力者20名
- 第3回：令和5年3月1日(水)～3月24日(金) 毎週水・金曜 (全8回)
- 参加者32名，支援協力者33名
- エ 「日本語を母語としない小中学生のための夏休み教室」
- 内容：外国につながる小中学生を対象に，宮城教育大学・東北大学と協働し小中学校の夏休み期間中の2日間にわたって，工作などの活動を通じて交流を深めた。
- 開催日：令和4年8月3日(水)，4日(木) 13:30～15:30
- 場所：仙台多文化共生センター研修室
- 参加者：延べ32名(未就学児：4名，小学生13名，中学生1名)
- 後援：仙台市教育委員会
- 協力：高橋亜紀子先生・宮城教育大学・東北大学文学部日本語教育学研究室
- 支援協力者(学生ボランティア)：延べ57名
- オ 外国人児童と家族のための小学校入学準備講座
- 内容：小学校生活や準備物，子どもの学習に関する情報提供，言語別相談の場を設ける。
- 開催日：令和5年2月18日(土)
- 参加者：11組21名

vi. 防災啓発(多言語による防災情報発信及び防災訓練の実施)

防災ガイドブック，DVDの活用により外国人住民の防災意識を高めるとともに，外国人防災リーダー育成研修を行った。

ア 外国人防災リーダー育成研修

地域防災に貢献する外国人防災リーダーの育成を目的とし，防災に関心のある外国人に対し，日本の災害や防災の仕組み，外国人支援についての研修を実施した。

【第1回】

開催日：令和4年11月6日(日)

場所：仙台多文化共生センター研修室，津波復興祈念資料館等

参加者：14名

【第2回】

開催日：令和5年1月14日(土) 13:30～16:00

場所：仙台市福祉プラザ第2研修室

参加者：21名

イ 仙台防災未来フォーラムへの参加

宮城県国際化協会と共同で災害時・防災に役立つ多言語情報・ツールの紹介を行った。ブー

ス展示では、防災に役立つ多言語の情報・資料を展示した。

開催日：令和5年3月4日（土）

場所：仙台国際センター展示棟

参加者：34名（外国人12名，日本人22名）

ウ Date fm 防災番組「Sunday Morning Wave」への協力

番組内「Global Talk」のコーナーに出演するゲストについて、防災活動に取り組む外国人住民等を紹介し、Date fm（エフエム仙台）に協力した。

放送日：毎月第2日曜日

番組名：防災情報番組 Sunday Morning Wave 内「Global Talk」

vii. 留学生へのリサイクル自転車斡旋

新型コロナウイルスの感染拡大により令和2年度から開催を見送っていたが、令和4年度においては入国規制緩和の影響もあり留学生が多く入国し生活し始めていることを受け、感染防止対策を徹底したうえで開催した。

開催日：令和4年10月16日（日）

場所：仙台多文化共生センター内研修室

参加者：140名，販売台数：30台

viii. ウクライナ避難民支援事業

令和4年2月に始まったロシアのウクライナ侵攻を受けて、6月に調整員を配置し、ウクライナ避難民に関する問合せや相談に対応した他、仙台市や関係団体が行う支援につなげるための調整及び翻訳・通訳支援を行った。

（2）災害時の外国人支援

① 仙台市災害多言語支援センター運営事業

大規模災害発生時、外国人住民や旅行者など、言葉や習慣等の違いから情報が入手しにくく支援が受けられない恐れがある外国人を支援するために仙台市が設置する「災害多言語支援センター」を運営するための訓練を行った。

i. 仙台市災害多言語支援センター設置・運営

令和4年度は設置なし

ii. 仙台市災害多言語支援センター設置運営訓練

開催日：令和4年9月5日（月）

場所：仙台多文化共生センター研修室

参加者数：20名（協会・仙台市職員等）

内容：災害多言語支援センター概要説明，多言語情報提供フローの確認等

② 仙台市災害時言語ボランティア育成事業

大規模災害発生時に外国人被災者の支援を行う市民ボランティアを「仙台市災害時言語ボランティア」として募集し、研修を行った。

i. 登録

登録者数91名，対応言語20言語（複数言語登録あり）

ii. 研修会, 訓練

ア 仙台市災害時言語ボランティア研修会

外国人防災リーダーとの合同によるマイ・タイムライン（防災行動計画）研修

開催日：令和4年8月6日（土）

場所：多文化共生センター研修室

参加者：28名

(3) 地域づくり支援事業

市民が自主的に行う国際交流，国際協力，多文化共生に関する活動に対して補助金を交付した他，外国人住民の状況や多文化共生について考える講座を開催した。また，令和5年5月にG7科学技術大臣会合が仙台市で開催されることに合わせ，G7参加国について理解を深めるための市民対象セミナーをオンラインで開催した。

① 地域づくり支援事業

i. 国際理解の推進

学校，市民センター等が実施する国際理解事業に対して，講師の紹介や情報提供などの支援を行った。令和4年度は新型コロナウイルスの感染拡大により，規模を縮小して実施した。その他，宮城県高等学校国際教育研究会に協力した。

ア 人材の登録と派遣

- ・登録者数 88名（31の国・地域）
- ・派遣件数 17件（小学校7件，中学校1件，高校4件，その他5件）
- ・派遣講師数 25名
- ・参加者数 965名

イ G7関連イベント「G7参加国出身ゲストのとおきの話」（オンライン）

- ・フランスの部 令和5年3月10日（金）開催，参加人数34名
- ・カナダの部 令和5年3月18日（土）開催，参加人数21名
- ・アメリカの部 令和5年3月25日（土）開催，参加人数21名
- ・ドイツの部 令和5年3月26日（日）開催，参加人数43名

※イギリス編，イタリア編は令和5年度に実施

ii. 市民団体による多文化共生活動等の支援

市民の自主的な国際交流，国際協力，多文化共生等の活動促進を図るため，事業経費の一部を補助した。

交付団体数：5団体

交付額：444,000円

iii. せんだい多文化まちづくりプロジェクト

仙台における多文化共生の推進を図るためウェブサイトを作成し，仙台で暮らす外国人の声や，国際交流・協力分野に関わる市民団体の活動の様子，協会事業を動画で紹介した。動画を作成するに当たり，基本的な知識及びノウハウを学ぶための研修会を開催した。

ア 動画制作のための研修会の開催

【第1回 留学生交流委員対象】

開催日：令和4年7月31日（日）

場所：仙台観光国際協会 会議室

内容：撮影準備・企画，撮影・編集方法，著作権等について

参加者：12名

【第2回 市民団体対象】

開催日：令和4年10月23日（日）

場所：仙台多文化共生センター 研修室

内容：動画制作の基礎知識，動画の制作方法

参加者：9名

イ 動画制作

多文化共生，国際交流・協力に関わる市民活動の紹介（4本）

外国人住民の生活・活動紹介（2本）

協会事業に関わる活動紹介（2本）

iv. 多文化共生講座の開催

区役所等で窓口を担当する職員および地域住民を対象として，外国人住民対応研修を実施した。

ア 区役所等職員対象研修

令和4年 6月 1日（水）実施 青葉区役所職員 25名参加

令和4年 6月 3日（金）実施 全庁職員 80名参加

令和4年10月27日（木）実施 全庁職員 28名参加

令和4年10月28日（金）実施 全庁職員 24名参加

令和5年 1月18日（水）実施 宮城野区市民センター職員 20名参加

イ 地域住民対象研修

令和5年 2月15日（水）実施 荒町地区住民 37名参加

ウ 仙台出入国在留管理局職員対象研修

令和5年 1月26日（木）実施 仙台出入国在留管理局 25名参加

（4）人材育成事業

国際交流や外国人支援に意欲のある外国人留学生を，せんだい留学生交流委員として委嘱し，各種事業への協力を得るとともに，地球規模の課題や地域の課題について考える機会を提供した。

① 人材育成事業

i. 留学生による多文化共生活動の促進

外国人留学生を，協会や仙台市が行う諸事業への協力などの活動を行う「せんだい留学生交流委員」に委嘱し，その活動のための奨励金を支給した。

・人数：前期18名，後期18名

・活動内容：各種講座・ラジオ出演等，協会事業への協力，仙台市事業への協力

（5）国際交流事業

国際姉妹友好都市等から訪れる市民団の受入により，市民の国際交流活動を促進した。

① 国際交流事業

i. 海外から訪れる市民団との国際交流促進

ア ホストファミリーボランティア

登録者数：66家庭

内容：他団体が主催するホームステイ登録説明会の情報提供を行った。

イ ダラス市受入

- ・ダラス・フォートワース日米協会専務理事ポール・パス氏来仙受入

日時：令和4年10月26日（水）

場所：仙台観光国際協会事務所，仙台多文化共生センター及び仙台国際センター

内容：25周年記念モニュメント視察，仙台観光国際協会表敬

- ・仙台－ダラス国際友好都市提携25周年モニュメント「ダラスの友好の歌」除幕式

開催日：令和4年12月6日（火）

場所：仙台国際センター展示棟前

- ・ダラス・フォートワース日米協会仙台委員会委員長イレーン・ブラウニング氏来仙

期間：令和5年3月7日（火）～8日（水）

場所：仙台観光国際協会，東北日米協会，仙台市役所

内容：今後の青少年交流についての協議

ウ 光州広域市受入

姉妹都市提携20周年記念・国際姉妹都市光州広域市訪問団来仙

期間：令和4年12月20日（火）～12月23日（金）

人数：公式訪問団16名，文化公演団16名，通訳者1名

内容：歓迎食事会・光州市立唱劇団特別公演への出席他，通訳・翻訳，特別公演の広報協力

エ リバサイド市受入

リバサイド国際交流委員会 ブシェ・洋子氏，ジョン・マッカーサー氏来仙

日時：令和4年10月21日（金）

場所：仙台観光国際協会，仙台市役所

内容：仙台観光国際協会・仙台市役所表敬，市内見学等

5. 調査・研究・広報・情報発信に関する事業

活力ある都市づくりに資することを目的として，仙台の観光，コンベンション並びに多文化共生に関する調査・研究広報・情報発信を行うことにより，各分野における事業を推進した。また，外国人住民向けに新型コロナウイルス感染症に関する支援情報を多言語で提供したほか，ウクライナ避難民に関する支援情報の提供も行った。

（1）調査・研究・広報事業

① 観光・コンベンション等に関する調査研究広報事業

i. コンベンション施設関係者との情報交換会の開催

コンベンション施設及び開催業務サポーターとの情報交換会

- ・コンベンション施設関係者情報交換会

第1回 開催日：令和4年8月4日（木）8団体

第2回 開催日：令和4年12月20日（火）7団体

- ・コンベンション業務サポーター情報交換会
開催日：令和4年8月2日（火）5団体

ii. コンベンションカレンダーの作成

仙台のコンベンション等開催情報の提供を目的としたカレンダーを作成し、関係者へ提供した。

- ・令和4年度下期版 10月発行
- ・令和5年度上期版 3月発行

iii. 日本コンGRESS・コンベンション・ビューロー（JCCB）・日本政府観光局（JNTO）を活用した調査研究

JCCB・JNTO から発信される情報収集を行うとともに、全国のコンベンション関係協会との情報交換を行った。

- ア JNTO への国際会議開催情報の収集と実績情報の提供
- イ JCCB 事業（総会、ビューロー部会）への参加

iv. 東北地区コンベンション推進協議会における調査広報

東北全体でのコンベンション活性化を目的とし、東北地区コンベンション推進協議会の運営、事業を行った。

- ・総会
開催日：令和4年7月7日（木）～令和4年7月8日（金）
会場：秋田市文化創造館
- ・研修会
開催日：令和4年10月27日（木）～令和4年10月28日（金）
会場：朱鷺メッセ新潟コンベンションセンター

v. コンベンション開催情報の収集及びデータベース化

コンベンション開催状況及び営業用情報の把握に向け、データシステムの運用より収集した大会等のデータベース化を行った。

vi. 各種コンベンション関係情報の発信

メールマガジンの発行：7回

vii. コンベンションアンケート調査の実施

コンベンション開催助成対象会議を中心に、コンベンション参加者アンケート調査を実施し、報告書を作成した。

対象件数 13件 総回答数251名

viii. 観光コンベンションセミナーの開催

仙台市内におけるアフターコロナを見据えた観光振興を目的に、観光分野においても重要となってきた「マーケティング」をテーマとしてセミナーを開催した。セミナーの中で、令和5年度の開催が予定されている「G7仙台科学技術大臣会合」や「第40回全国都市緑化仙台フェア」について、仙台市より説明を行った。

開催日：令和5年2月27日（月）
会場：ガーデンパレス仙台2階鳳凰
プログラム内容

1. 講演

(1) 「観光都市としての「仙台」の現在地～リサーチ結果を踏まえて～」

講師：(株)マクロミル設楽祐太郎氏

(2) 「インバウンド再開に向けた「統合的マーケティング」と情報発信の成功事例について」

講師：(株)リクルート じゃらんリサーチセンター研究員 松本百加里氏

2. 説明

(1) 2023「G7仙台科学技術大臣会合」開催について

説明：仙台市G7科学技術大臣会合推進室長 渡邊忍 氏

(2) 未来の杜仙台2023開催について

説明：第40回全国都市緑化フェア実行委員会事務局

総務企画担当課長 千代谷 馨一 氏

参加者数：61名（事前申し込み77名）

ix. デジタルマーケティングを活用した調査事業

仙台市と共同で、仙台市観光 DMP（データマネジメントプラットフォーム）を運用し、得られた分析データから、仙台観光情報 WEB サイト「せんだい旅日和」を活用し、WEB プロモーションを実施した。4回にわたる WEB プロモーションの分析結果を踏まえ、今後の情報発信に活用していく。

x. 青葉山エリアの観光コンテンツ調査事業

青葉山公園の一部(追廻地区、竜ノ口地区)指定管理者募集に申請し、プロポーザル審査に臨んだが指定管理者候補となることはできなかった。申請を通じ検討した、同エリアの魅力向上のための企画提案などについては、今後各事業において検討していく。

② 多文化共生等に関する調査研究広報事業

多文化共生社会の形成及び国際交流や国際理解などに関する様々な事業を推進するため、地域の現状及び各種課題に関する調査・研究及び市民の理解促進を図るための広報事業を行った。また、外国人住民向けに新型コロナウイルス感染症に関する情報を多言語化し、各種ツールで広報した。

i. 多文化共生等に関する調査研究

多文化共生等にかかる現状、課題、今後の方向について調整・研究を行う他、各種協議会や研修会への参加を通して、関係機関とのネットワーク構築を図った。

ア 地域国際化協会連絡協議会 総会

開催日：令和4年5月20日（金）

場所：東京グリーンパレス

イ 東北・北海道国際化協会連絡協議会 総会

開催日：令和4年12月23日（金）

場所：オンライン（Zoom 使用）

ii. 多文化共生等に関する広報

広報紙、メールマガジン、SNS を通して事業を広報し、多文化共生に関する意識啓発を行った。令和4年度は、ウクライナ避難民の支援に関する情報提供も行った。また、他団体からの依頼により職員を派遣し、防災や多文化共生の取り組みを紹介した。

ア 「多文化共生情報誌 SENDAI Lifestyle」の発行

2,500部/年2回発行（日本語）

- イ 「国際化事業部ホームページ」の運営
 ブログ, Facebook, Twitter
 (日本語, 英語, 中国語, 韓国語, ベトナム語, ネパール語)
- ウ 「メールマガジン SenTIA メール」の配信
 (日本語, 英語, 中国語, 韓国語, ベトナム語, ネパール語)
 登録者: 2,441名登録 ※重複登録可
 (日本語1,718名, 英語1,179名, 中国語258名, 韓国語106名,
 ベトナム語63名, ネパール語38名)
 配信数: 日本語85件, 英語53件, 中国語47件, 韓国語46件, ベトナム語43件,
 ネパール語39件
 災害等情報 計7件 ※全言語総計。
- エ 事業広報等のための講師派遣, 原稿執筆等
 派遣回数: 23回 内容: 防災・多文化共生について
- オ ウクライナ避難民関連の情報提供
 仙台市に避難するウクライナ避難民に対して, 仙台市と連携して生活支援金等の各種
 制度に関する情報や, 生活支援のための情報提供を行った。また, ウクライナ避難民へ
 の支援を希望する市民に対して, 関連する情報提供を行った。

③ 専門委員会調査研究事業

各事業の推進及び活性化を目的に, 各専門委員会を設置し, 外部有識者等からの意見・提言を求め各事業に活かす予定であったが, 新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑み, 一部委員会の開催を中止した。

i. 観光専門委員会

新型コロナウイルス感染症第7波の影響により, 開催を延期していたものの, 登録DMOを目指した体制整備にあたり, 委員からのヒアリングを行った。

ii. コンベンション推進専門委員会

第1回: 令和4年7月1日(金)実施 11名参加

テーマ「コロナ禍におけるMICE業界の課題」

第2回: 令和5年3月16日(木)実施 12名参加

テーマ「MICE関係者としてアフターコロナに向けて取り組むべきこと」

iii. 物産専門委員会

新型コロナウイルス感染症第7波の影響により, 開催を延期していたものの, 登録DMOを目指した体制整備にあたり, 委員からのヒアリングを行った。

iv. 国際化専門委員会

第1回: 令和4年7月28日(木)実施, 9名参加(オンライン開催)

テーマ「ウクライナ避難民への対応, 生活オリエンテーション実施状況等について」

第2回: 令和5年3月24日(金)実施, 9名参加(オンライン開催)

テーマ「ウクライナ避難民への対応, 生活マナー動画, 多文化共生センター運営について」

(2) 情報発信事業

① 情報発信事業

新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じ、国内外の観光客を誘致するため仙台の最新の観光情報やイベント情報等の情報発信を実施した。

i. 日本語版及び多言語版観光マップの作成

- ・仙台観光マップの作成及び配布

作成部数：150,000部（令和4年12月発行）

- ・多言語版観光マップ「SENDAI TOURIST MAP」の作成

作成部数：英語版 7,500部

繁体字版 6,000部

タイ語版 5,000部

ii. 多言語版プロモーション用ガイドブックの作成

- ・「SENDAI GUIDEBOOK」の作成

増刷部数：英語版 15,000部

簡体字版 9,000部

繁体字版 15,000部

韓国語版 5,000部

タイ語版 10,000部

iii. インセンティブツアー情報サイト活用による情報発信

アフターコロナを見据えた仙台へのインセンティブツアーの誘致を図るため、インセンティブツアー情報サイトのリニューアルを実施し、各種おもてなしメニュー支援等の情報発信の強化を図った。

iv. 仙台市観光情報サイト「せんだい旅日和」による情報発信

仙台市の観光、イベント情報、関連する役立ち情報等を紹介するWEBサイトの運営、管理を行った。

- ・総アクセス件数：年間4,115,689件

- ・総ページビュー数：年間4,938,384件

v. 機関紙等会員サービス事業

ア 機関誌 Sentia 14号の発行及び賛助会員名簿の発行

イ 会員ホームページやメール配信を活用した情報提供

会員専用ホームページ内にマーケティングデータの公開コーナーを設置し、各種調査データの公開を開始した。

ウ マーケティングデータの送付

令和4年度に取組んだデジタルマーケティング事業の一環として、令和4年4月～9月までの仙台圏における人流データや、WEBサイトのアクセス解析等のデータを分析し、レポートして送付を行った。

vi. 首都圏案内所等での情報発信事業

仙台のパフレット等を東京駅に隣接する観光案内所「TIC TOKYO」及び成田国際空港第1ターミナル中央ビル本館1階「Visitor Service Center」にて配布、PRを行った。

6. 情報提供・交流促進に関する事業

情報提供や交流促進を担う各種施設を円滑に運営することにより、地域の観光の発展と国際交流・多文化共生の促進を図った。新型コロナウイルス感染症の感染状況に応じて、施設の営業日及び営業時間を随時見直すなどしながら情報提供・交流促進事業を継続した。

(1) 観光情報施設の運営

① 仙台市観光情報センター運営事業

仙台・宮城はもとより東北に来訪される観光客等を対象に、J R仙台駅において市内観光情報や東北広域情報の提供および相談案内を実施した。

利用実績

	年間利用実績（4月～3月）※営業日数：365日
日本人	147,152名（前年度比283.5%）
外国人	18,339名（前年度比841.2%）
計	165,491名（前年度比305.9%）

② 仙台市作並・定義地区観光案内所運営事業

仙台市作並・定義地区を訪れる観光客に対し、当該地区の観光地や物産、宿泊施設等を紹介するため、仙台市作並・定義地区観光案内所を運営した。「湯のまち作並観光交流館ラサンタ」への観光案内機能の集約に伴い、令和5年3月22日をもって、J R仙山線作並駅の仙台市作並・定義地区観光案内所を閉鎖した。

利用実績（窓口案内・電話問合せ含む）

年間利用実績（4月～3月） ※営業日数：350日	7,107件（前年度比98.2%）
-----------------------------	-------------------

(2) 仙台多文化共生センターの運営

多文化共生社会の実現を目的として、外国人住民や地域づくりに関わる市民に活動や学びの場を提供するとともに、幅広い交流の機会やにぎわいの場を創出した。仙台国際センターの電気設備系統更新工事に伴う臨時休館に合わせ、仙台多文化共生センターも、令和4年12月19日から令和5年2月1日まで閉室となった。この閉室期間においても、完全停電日以外は、仮設電源の供給を受けて、事務室内で電話およびメールによる情報提供や相談対応を行った。コロナ禍3年目を迎え、特例貸付など各種支援制度の終了や、エネルギーの高騰および物価高に伴い、生活に困窮する外国人住民に対し相談対応や通訳などの支援を行った。

① 仙台多文化共生センターの運営 ※開館日数：306日、相談対応日数：339日

入場者数： 9,757人（前年度比126.9%）

相談受付数：3,518件（前年度比116.2%）

図書貸出数： 401冊（前年度比 53.6%）

i. 外国人住民への情報提供・相談対応

市民団体との協働により、外国人市民の生活に関する情報を収集・提供した。また、仙台出入国在留管理局、仙台弁護士会、東北税理士会、宮城県行政書士会、宮城労働局等の専門機関と連携し、専門相談会を開催した。

専門相談会実績：48件

ii. 行政窓口等におけるコミュニケーション支援

外国語相談員及び通訳サポート電話の活用と、行政窓口等で日本語と外国語の橋渡しをするコミュニティ通訳サポーターの派遣により、英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語等の多言語にて外国人住民を支援した。

ア 外国語相談員

対応言語：中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語

イ 通訳サポート電話

対応言語：英語、中国語、韓国語、ベトナム語、ネパール語等 22言語

対応実績：941件

ウ コミュニティ通訳サポーター

登録者数：45名（16言語）

派遣実績：98件（区役所35件、小学校20件、児童相談所4件、中学校16件、保育園9件、幼稚園6件、児童館1件、病院4件、その他3件）

オンラインミーティング

日時：令和5年2月13日（月）14：00～15：30

形式：オンライン開催（Zoom利用）

参加者：9名（コミュニティ通訳サポーター登録者、その他関係者）

iii. 国際活動・多文化共生に関わる団体の支援

国際交流・多文化共生に関わる団体の情報を収集・提供した。また、登録団体に対して活動場所を提供し、事業の広報に協力した。

団体登録数：142団体（うち研修室利用登録団体：75団体）

iv. 外国人観光案内所としての情報提供

139件（日本人95件、外国人32件、外国人対応者12件）

v. 『仙台生活便利帳（多言語版）』（仙台市発行）の編集

英語版1,400部、中国語版1,000部、韓国語版400部、ベトナム語版800部、ネパール語版800部を令和5年3月に発行。

その他、ウクライナ語版、ロシア語版をウェブサイトで公開

vi. 広報誌発行

『仙台多文化共生センターだより』（年4回発行）

日本語版1,100部/回、

英語版、中国語版、韓国語版、ベトナム語版、ネパール語版各700部/回を発行。

[収益事業]

1. 観光駐車場等管理運営事業

仙台を訪れる観光客の利便性を図るため、仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営を行った。コロナ禍での乗降場利用の減少に対応するため、管理運営体制の効率化を図り運営した。

(1) 観光駐車場等管理運営事業

① 観光駐車場等管理運営事業

仙台駅東口駅前広場観光・送迎バス乗降場の管理運営

利用実績

	令和4年4月1日～令和5年3月31日
利用台数	19,673台 (前年度比153.8%)
利用金額	10,603,500円 (前年度比151.7%)

2. 物産・銘産品等販売事業

(1) 物産・銘産品等販売事業

① 観光案内所等における物品販売

観光案内所等において、観光客を対象に土産品等の販売を行い、土産品の販売拡大と観光客へのサービスの充実を図った。

仙台市作並・定義地区観光案内所における土産品、JR乗車券販売手数料

年間販売実績	1,530,914円 (前年度比196.6%)
--------	-------------------------

② 物産品販売事業

仙台で開催されるコンベンションや県内外で開催される催事・オンラインショップ等において、仙台の物産・銘産品を販売し、物産振興と販路拡大を図った。

i. るーぶる仙台チョコQの作成及び名刺台紙の販売

品名	令和4年4月1日～令和5年3月31日
るーぶる仙台チョコQ	2,672,014円 (前年度比190.8%)
名刺台紙	14,850円 (前年度比192.8%)

ii. オンラインによる物産販売【重点】

オンラインショップ「伊達な銘品横丁」を活用し、仙台の工芸品や食品等のオンライン販売及び紹介を行うと共に、関係団体による仙台の土産品の販売機会の創出、認知度の向上を図った。他業種連携による「仙台名物こけし」「仙台プロスポーツこけし2022」の販売も行った。

総売上	4,741,248円 (前年度比：152.7%)
-----	--------------------------

iii. 仙台駅構内等における土産品の催事販売

「仙台いいものフェア」等での販売

総売上	459,089円
-----	----------

iv. コンベンション会場等における土産販売

コンベンション会場及び就航都市等観光プロモーション会場での販売

総売上	2,668,277円
-----	------------